

◆経済倶楽部講演会第4267回（11月16日）

米中間選挙の結果から読む トランプ政権の今後

東洋英和女学院大学客員教授

なか
おか
中岡

のぞむ
望

- * 共和党は変わってしまった
- * 危機に瀕するアメリカの民主主義
- * 共和党が変質した理由
- * 保守・ポピュリズム連合
- * 選挙制度の歪み
- * 経済政策がない民主党
- * 新しいリーダーが不在
- * アメリカに不法移民はない
- * 米中はいまや相互依存
- * 長期戦略を捨てた共和党



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

もうすっかりおなじみですが、中岡先生においでいただきました。アメリカの中間選挙が終わり、メディアではさまざまなことが言われていますが、今日は単に足元の話題やエピソードだけではなく、アメリカの歴史の中でこの選挙結果をどう見たらいいのかという観点からお話をいただきたいと思っています。

それでは中岡先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

共和党は変わってしまった

中岡 たしか前回は1年半ぐらい前にお話をしたのではないかと思います。トランプ政権が誕生してもうすぐ2年になります。この間、ト

ランプ大統領の実相が徐々に見えてきたのではなかとと思います。中間選挙は、アメリカ国民のトランプ政権に対する暫定的な評価を意味すると思います。

中間選挙の直後に産経のiRONNAというウェブページに原稿を頼まれて、『反トランプ』のうねりはなぜ起こらなかったのか』という原稿を書きました。書いたのは選挙が終わって3時間後ぐらいで、選挙結果はまだ出ていませんでしたが、とにかく急いで書いてくれとせかされて書き上げました。ですから、かなり推測に基づいて書いたものです。正確な分析をするためには様々な出口調査を使いますが、この時点ではまだひとつも出口調査の結果は発表されていませんでした。『反トランプ』のうねり